

2026 年度臨床研究の承認状況

承認番号		課題名	研究責任者	共同研究者	研究の概要
ER2026-001	承認	認定看護師として安全な医療の提供を目指して	島田 聖也	なし	診療録（カルテ）や院内記録（インシデント報告）を用いた後ろ向き研究を行い、認定看護師による特定行為（気管カニューレ交換）の実践状況を調査し、安全な医療の提供および現場への影響について明らかにする
ER2026-002	承認	大腸憩室出血に対する内視鏡後の非絶食管理の安全性を検証する多施設共同ランダム化比較試験（非劣性試験）	若槻 俊之	原田 潤 沼本 紘輝 何本 佑太 佐藤 知子	最終血便から 24 時間以内で受診した急性血便を呈し、受診後 48 時間以内に大腸内視鏡検査が実施され、確定大腸憩室出血もしくは推定大腸内視鏡出血と診断された症例を試験治療群（早期食事再開群）、標準治療群（対照群）に無作為に割り付け、年齢や性別、既往歴、薬剤歴など患者の基本情報、症状、バイタルサイン（血圧や脈拍）、血液結果説明、内視鏡所見、治療内容、再出血などのイベントの発生の有無をカルテから取得し、大腸憩室出血の患者において、大腸内視鏡検査後に早期に食事を再開する管理（遅くとも 24 時間以内）が、従来の 48 時間以降の食事再開と比較して、30 日以内の再出血率において劣らないこと（非劣性）を科学的に検証する
ER2026-003	承認	LGBTQ+に配慮した医療体制に関する現状調査	植木 綾	倉田 弓美子 奥田 湊子 西本 菜美 西岡 愛莉 明関 拓也 田中 裕子	当法人では、法人内プロジェクトとして LGBTQ+当事者に配慮した環境整備や啓発運動に取り組んできた。2025 年は当事者団体主催イベント「岡山レインボフェスタ 2025」にブース展示で参加し、取り組みについてアンケートと健康チェックを行った。本研究では、当法人、病院が地域連携を行っている医療機関における対応状況と課題を明らかにし、今後の地域医療の改善につなげることを目的とする。
ER2026-004	承認	医療従事者の経験年数による吸入手技指導の差に関する研究 ー若手専門職と中堅・ベテラン専門職における比較検討ー	草地 海翔	戸村 紗登 鴨田 正則 守屋 崇文	病院で勤務する医療専門スタッフでは、呼吸器疾患患者に対する吸入指導を実施する機会が多く存在する。中でも看護師では、臨床経験により、吸入指導の内容が異なることが報告されている。吸入指導は、呼吸器疾患患者の治療効果に大きく影響するため、その質を高めるためには指導内容の傾向を把握することが重要である。本研究は、若手群（5 年未満）と中堅・ベテラン群（5 年以上）における吸入指導内容の違いを明らかにし、指導の標準化と質向上を図ることを目的とする

2026 年 6 月 連絡先：臨床研究部（医師支援室）
086-272-2121（代）